

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	05700000	総務部 収税課
大事業	61	6つのまちづくり宣言	政策体系に基づかないその他の事業	款項目	02	総務費
		目指す姿		02	徴税費	02
中事業	17	主要な取り組み		K P I	-	目標値
小事業	12	債権回収業務		目標年度	令和6年度	

インプット	事業実施の背景にある課題	<ul style="list-style-type: none"> 市の債権は公債権、私債権を合わせて140以上ある。そのうち、特に強制徴収公債権（税や国民健康保険料、公立保育園保育料など）では滞納となるものは債務者が同じである場合が多々ある。加えて各債権の所管課に債権徴収のノウハウが足りないという課題がある 滞納者が死亡し、相続人が全員相続放棄をする案件が増加している 				
	事業目的	(1) 対象（誰、何を対象にしていますか） 市債権の徴収一元化及び市債権の未納者の債権回収 (2) 目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 適正な債権管理を行うことで市債権の訴訟に備えると共に収入未済額の減少につなげる				
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 徴収一元化を実施することで想定されるシステムや組織体制、個人情報の取り扱いにおける課題を整理する 債権管理にかかる疑問や課題について、弁護士への面談での相談業務を統括し、各部署の債権管理を行っていく 				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
予算額	3,140	1,345	1,371	589	1,275	
決算額	1,690	660	869	517		
年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	403 / 120					

アウトプット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	一元管理数（件）	目標値				1	1
		実績値				0	

アウトカム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	主な市債権の収納率（%） （出納整理期間後に数値判明）	目標値	95.2	95.3	95.4	95.5	95.6
		実績値	95.4	95.4	95	97.4	

実績	実績	<ul style="list-style-type: none"> 合規制のある債権管理の実施に向けた情報提供（週1回官報掲載破産情報の共有） 相続財産清算人選任申立1件
	効果	<ul style="list-style-type: none"> 滞納者の財産状況（破産など）を早期の把握、対応方針決定 相続財産清算人により財産の処分がされ、滞納市税の納付、固定資産税等の新たな滞納額の発生を防いだ

評価分析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	<ul style="list-style-type: none"> 対象案件を抽出しなかったため、一元管理をすることができなかったが、市税と国民健康保険料の滞納者との折衝は同時に行った
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	<ul style="list-style-type: none"> 現年度徴収率が99%あったこと、滞納処分による収納額が前年比113.6%あったため
	実績からR06年度の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 前年度から引き続き、対象案件を抽出し、法令を確認しながら一元管理を目指していく 前年度から引き続き相続財産清算人を申立て、滞納したまま死亡した案件を減少させる 新規で、債権に関する法律メール相談を委託し適正な市債権の管理をする

令和5年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計		事業主体	05700000	総務部 収税課			
大事業	61	6つのまちづくり宣言	款項目	02	総務費	02	徴税費	02	賦課徴収費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I	-		目標値	-	
中事業	17	主要な取り組み							
小事業	13	市税収納事務費	目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の背景にある課題	公平公正な税負担となるよう適正かつ効率的な徴収事務が求められる。				
	事業目的	(1) 対象（誰、何を対象にしていますか） 納税義務者に対する市税（市県民税、固定資産税（都市計画税含）、軽自動車税、市たばこ税等）の賦課について、公平かつ適正に徴収を行う。 (2) 目的（事業を行う事で、解決すべき課題がどのように改善されるのか） 安定した財源の確保と公平・公正な税負担				
	事業概要	安定した市税の確保及び市民の公平・公正な税負担のため、適正な処理のもと賦課処理された市税、固定資産税（都市計画税含）、軽自動車税、市たばこ税等を徴収するとともに、未納者に対しては、積極的に滞納処分を実施し、税収確保を図る。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	13,496	14,711	18,869	13,606	13,394
	決算額	10,284	9,835	15,542	8,250	
	年間の事業に要する時間（正職員/正職員以外）	11,687 /		5,548		

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	口座振替率：99.0%	目標値			99	99
		実績値				98.3

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06	
	収納率（現年度分）：99.0% （6月頃集計完了）	目標値	99	99	99	99	99
		実績値	97.2	99.2	99	99	

実 績	実績	○徴収率 ・現年度分 99.0% 滞納繰越分 29.3% 計 97.2% ・市民税 97.8% 固定資産税 都市計画税 96.9% 軽自動車税 96.8% たばこ税 100% ○差押件数 469件
	効果	適正に市税を徴収することにより税収確保につながった。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	目標値には達成できなかったが、R4口座振替率98.1から徴増することができている。要因としては口座振替率を上げるために、各税目の毎期ごとの振替結果において、振替不能の理由が残高不足以外の理由については、調査のうえ本人に口座を変更するなど対応を依頼していることが考えられる。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	現年滞納者を中心に催告を行ったことで現年徴収率の目標値を達成することができた。現年課税を滞納させないことで高額滞納者を発生させないようにしている。
	実績からR06年度の事業の方向性	現年徴収率の達成のため、引き続き口座振替率の向上を図る。R5年度から導入している地方税共同機構が提供する「地方税お支払いサイト」によるQRコードを利用した納税の促進を図る。